

第78回日本栄養・食糧学会大会 発表報告

(2024年5月24日(金)～26日(日) アクロス福岡、中村学園大学)

博士1名、修士1年生1名、学部4年生3名、客員研究員1名が第78回日本栄養・食糧学会大会で一般演題の発表を行いました。全国学会初参加の学生の感想も含めご報告します。

● 発表演題

李 佳 (博士3年生)

「健常者を対象とした高アミロース米お粥摂取後の静脈血と毛細血の血糖値の比較」

金田 みなみ (修士1年生)

「高齢日本人男女における外食頻度とSMIおよび位相角との関連：東温スタディ」

川口 真瑠 (学部4年生)

「保健機能食品の利用と体重変化との関連」

佐々木 穂 (学部4年生)

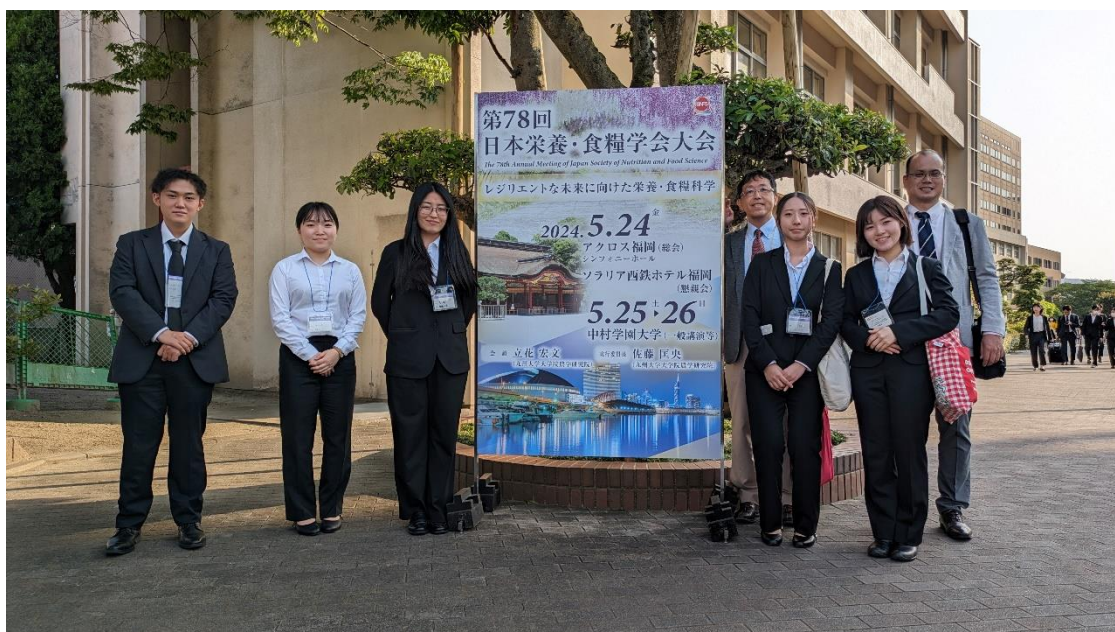
「Web文献検索ツールを使用した高アミロース米摂取後の血糖値への影響に関する文献レビューの正確性について」

織井 教光 (学部4年生)

「脂肪酸摂取量と高尿酸血症との関連：東温スタディ」

木下 徹 (客員研究員)

「コピキノール(還元型コエンザイムQ10)含有ヨーグルトを活用した地域住民の健康増進活動」



● 感想

川口 真瑠

私は、『保健機能食品の利用と体重変化との関連』について発表しました。初めての学会発表でとても緊張しました。質疑応答の際には、緊張や下調べ不足で曖昧な回答になってしまったり、戸惑ってしまったりしてしました。また、自分では思いつかない内容の質問もあり、改善点や自分の研究をさらに深められることを確認することができ、とても勉強になりました。他の参加者の発表や質疑応答を見て、スムーズに議論したり、わかりやすい発表をしたりしていて、今後の自分の研究や発表などにたくさん活かせることを学びました。内容だけでなく発表の仕方についてたくさんのことを学べる貴重な時間となりました。今回の経験を踏まえて、今後はさらにわかりやすく伝わりやすい発表ができるようにしていきたいと思います。

佐々木 穂

私は『Web 文献検索ツールを使用した高アミロース米摂取後の血糖値への影響に関する文献レビューの正確性』について発表しました。質疑応答に関して、うまく答えられず、自分自身の考察不足や基礎知識不足を感じました。しかし、今回質問やご指摘をいただいたことでどのような点に着目して研究を進めればいいのか、考察すればいいかが分かったので、今後の研究や卒論発表に生かしたいです。シンポジウムでは、今後予定している研究と合致している点があり、新たな視点や発表の際にどんな質問をされるかについて、とても勉強になりました。今回の経験を糧に今後の研究をより良いものにしていきたいです。

織井 教光

私は『脂肪酸摂取量と高尿酸血症の関連』について発表を行いました。学会発表が初めての経験であり、普段と違う環境での発表であったため、緊張して周りが見えない状態で発表していたと感じました。また、質疑応答も、相手の質問内容を頭の中で整理できず分からないまま回答していたため、ゼミを通して空気間や発表に慣れるよう頑張ります。他の参加者の発表も自身に足りない知識や知見を得られてとても良い刺激になり、今後の研究発表に活かそうと思いました。